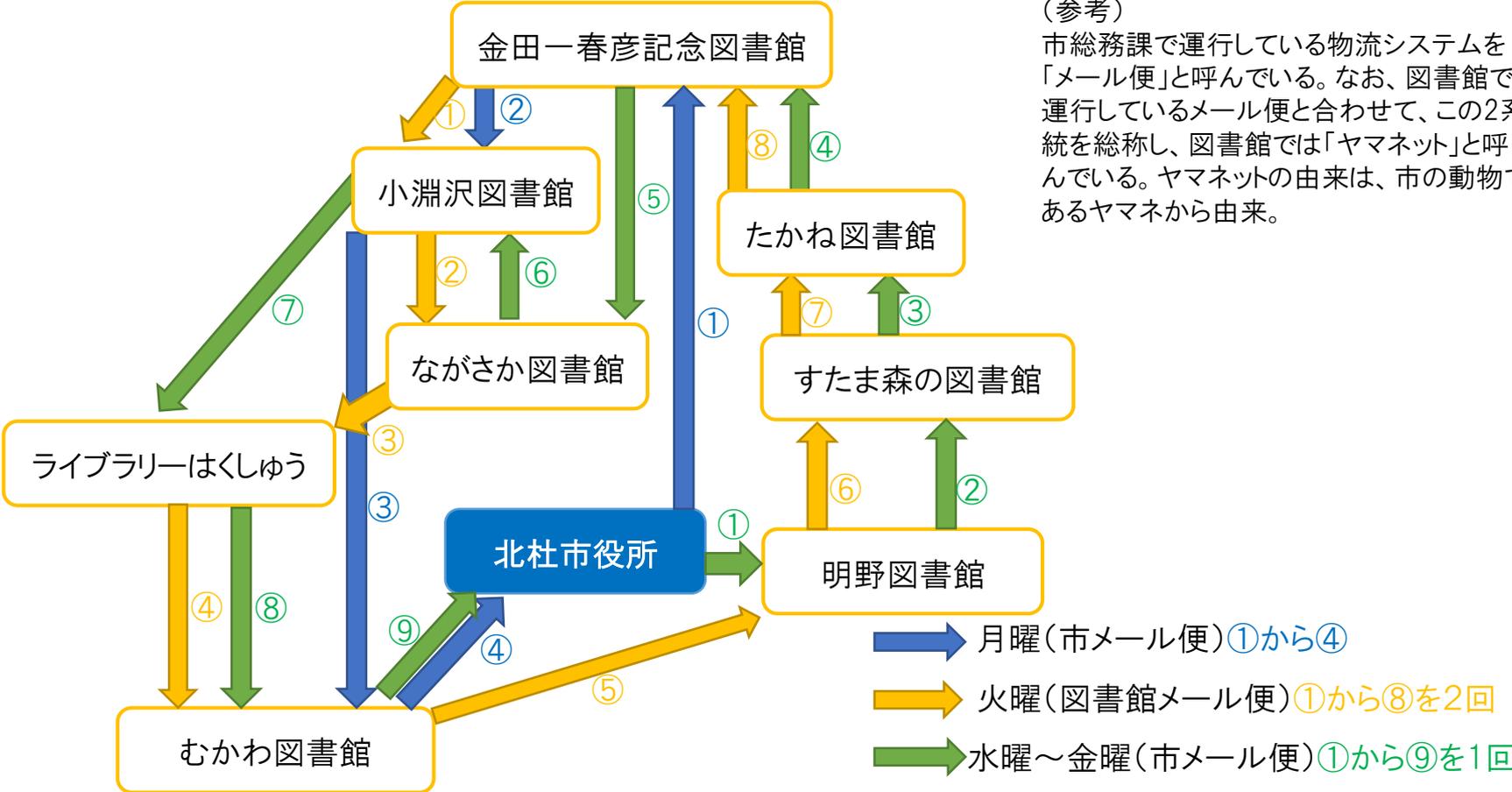


# ヤマネット(市総務課メール便+図書館メール便)の運行状況について

市内8図書館を公用車でまわる物流システム(メール便)は、市総務課及び図書館の2系統で運行している。利用者が指定した予約資料を所蔵館から受取館に配送(貸出)し、利用者が資料を返却した図書館から所蔵館に返送(返却)するシステム。

## ヤマネット便の運行ルート



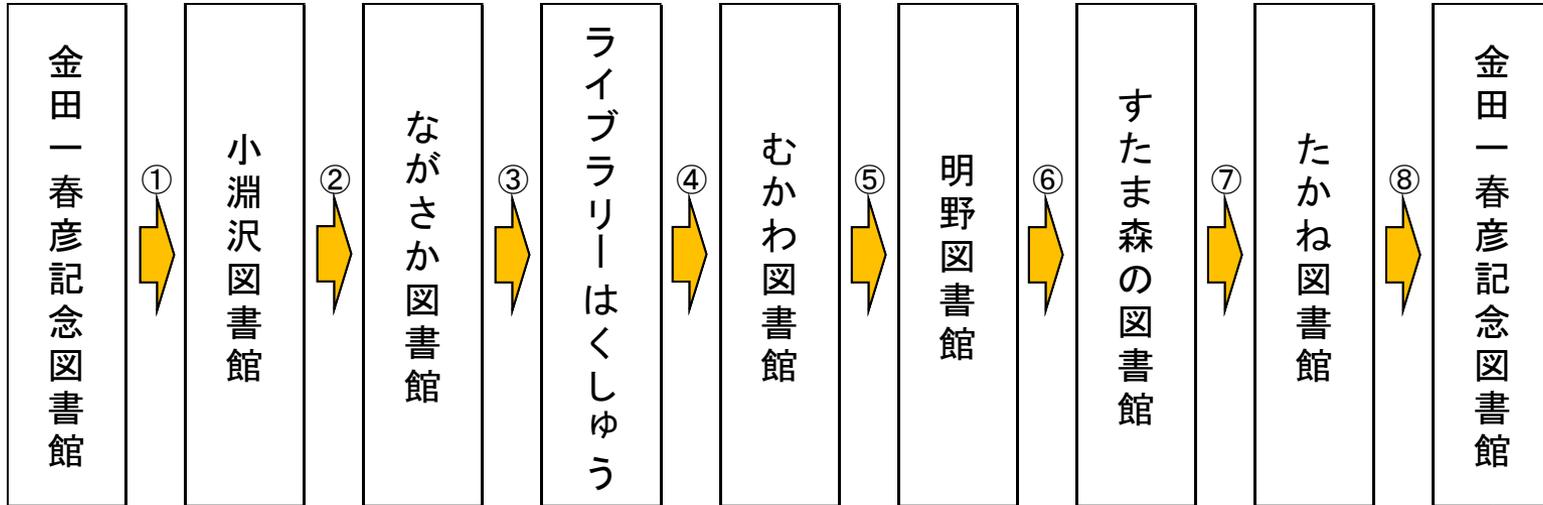
(参考)  
市総務課で運行している物流システムを「メール便」と呼んでいる。なお、図書館で運行しているメール便と合わせて、この2系統を総称し、図書館では「ヤマネット」と呼んでいる。ヤマネットの由来は、市の動物であるヤマネから由来。

# メール便(図書館・市)基本ルートについて

## 1 図書館メール便(火曜日)ルート



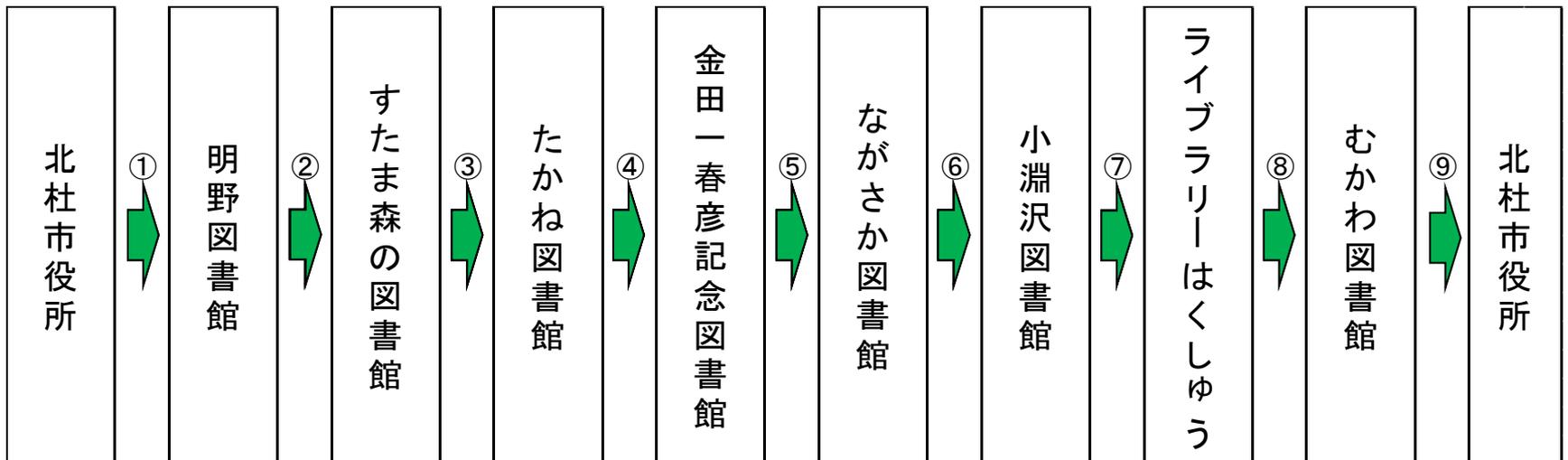
①から⑧を2回(午前1回、午後1回)まわるため、全ての館で受取、出荷が可能。



## 2 市メール便(水曜日～金曜日)ルート

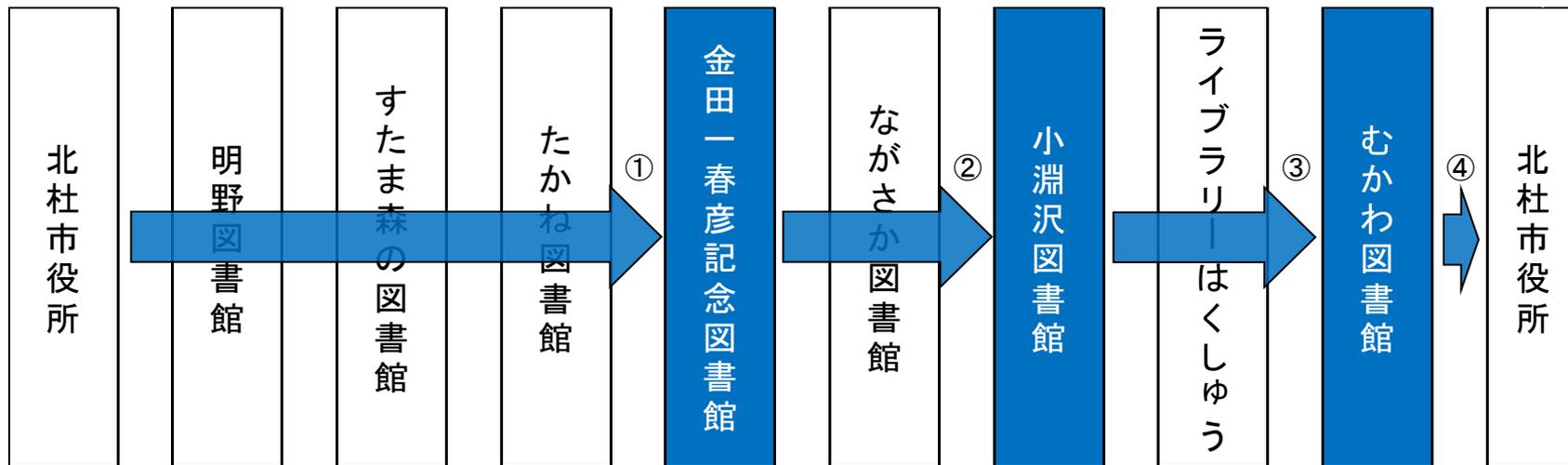


①から⑨を1回(午前1回)まわる。



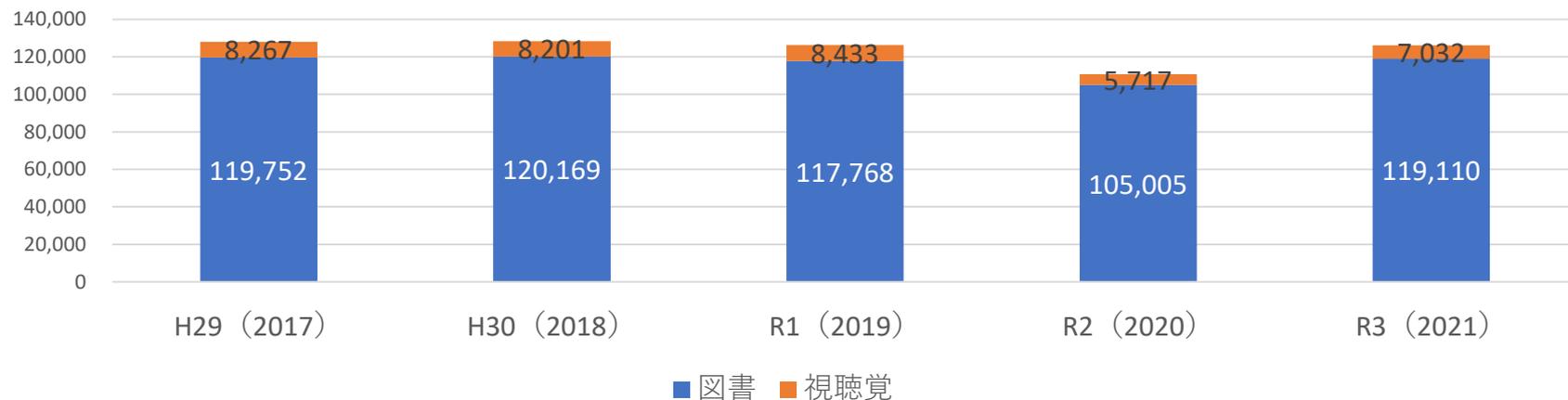
3 市メール便(月曜日)ルート 

①から④のみ。(月曜日は、5館が休館のため、金田一(中央図書館)⇒小淵沢⇒むかわの3館をまわる。)



ヤマネット（市総務課メール便＋図書館メール便）の推移

単位：点数



項目	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
図書	119,752	120,169	117,768	105,005	119,110
視聴覚	8,267	8,201	8,433	5,717	7,032
合計	128,019	128,370	126,201	110,722	126,142

○R2年度はコロナ禍により図書館の利用制限があったため、落ち込んでいるが、その他の年は貸出、返却を合わせて年間、約12万点の資料が流通している。

○令和3年度は、平均284日の開館。そのうち、ヤマネットの運行日が約180日となり、1日平均、約700点の資料が動いている。

○貸出冊数が減少しているにもかかわらず物流に目立った減少がないのは、最寄りの図書館で予約本の受け取りと返却を行うことが普及している。

○北杜市図書館は、8館を1館としてとらえており、基本的には「複本(同じ本)は持たない」という考え方で選書を行っているため、資料の行き来が多く、物流の数も多くなっている。

※「基本的には」とは、20件以上の予約が入った場合は、複本の購入を検討している。

○現状は、受け渡しを一度に完結できる日が火曜日しかない。